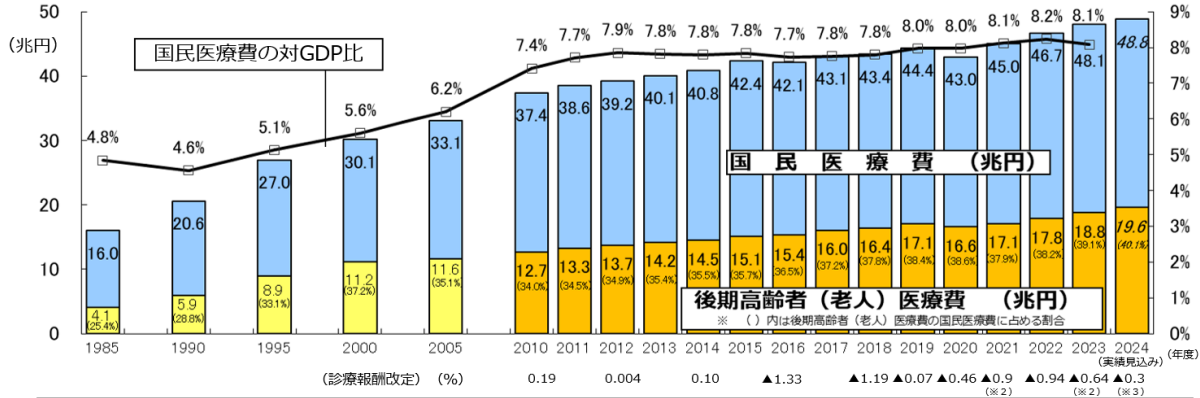


# 参考値 (R5実績データの追記)

## 第二 医療費の動向

### 一 全国の医療費について

#### 医療費の動向



(主な制度改正) 2000年以降: 介護保険制度施行 (2000)、高齢者1割負担導入 (2000)、高齢者1割負担徹底 (2002)、老人医療の対象年齢5年間で段階的引上げ (2002~2007)、被用者本人3割負担等 (2003)、現役並み所得高齢者3割負担等 (2006)、未就学児2割負担 (2008)、70-74歳2割負担 (2014)、一定以上所得高齢者2割負担 (2022)

#### <対前年度伸び率>

	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
	(S60)	(H2)	(H7)	(H12)	(H17)	(H22)	(H23)	(H24)	(H25)	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
国民医療費	6.1	4.5	4.5	▲1.8	3.2	3.9	3.1	1.6	2.2	1.9	3.8	▲0.5	2.2	0.8	2.3	▲3.2	4.8	3.7	3.0	1.5
後期高齢者(老人)医療費	12.7	6.6	9.3	▲5.1	0.6	5.9	4.5	3.0	3.6	2.1	4.4	1.6	4.2	2.5	3.8	▲2.9	3.1	4.5	5.4	4.1
GDP	7.2	8.6	2.6	1.4	0.8	1.5	▲1.0	▲0.1	2.7	2.1	3.3	0.8	2.0	0.2	0.0	▲3.2	2.9	2.3	4.9	-

注1 GDPは内閣府発表の国民経済計算による。  
 注2 後期高齢者(老人)医療費は、後期高齢者医療制度の施行前である2008年3月までは老人医療費であり、施行以降である2008年4月以降は後期高齢者医療費。  
 注3 2024年度の国民医療費(及び2024年度の後期高齢者医療費。以下同じ。)は実績見込みである。2024年度分は、2023年度の国民医療費に2024年度の概算医療費の伸び率(上表の斜字体)を乗じることによって推計している。  
 (※1) 70-74歳の者の一部負担割合の予算凍結措置解除(1割→2割)。2014年4月以降新たに70歳に達した者から2割とし、同年3月までに70歳に達した者は1割に据え置く。  
 (※2) 令和3、5年度それぞれの国民医療費を用いて、当該年度それぞれの薬価改定の影響を医療費に対する率へ換算した値。  
 (※3) 令和6年度の診療報酬改定のうち、影響を受ける期間を考慮した値。

## 第三 目標・施策の進捗状況

### (1) 県民の健康の保持の推進

#### ① 特定健康診査の実施率

R30 2018	R元 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023
49.8%	51.2%	50.3%	53.3%	55.3%	58.7%

(出典) 厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」

#### ② 特定保健指導の実施率

R30 2018	R元 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023
27.5%	29.3%	31.0%	31.7%	33.3%	35.5%

(出典) 厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」

#### ③ メタボリックシンドローム減少率 (H20比)

R30 2018	R元 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023
13.6%	13.9%	12.5%	14.8%	16.0%	17.5%

(出典) 厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導・メタボリックシンドロームの状況」

#### ④ 糖尿病性腎症による年間新規透析導入数

R30 2018	R元 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023
242人	238人	230人	268人	211人	251人

(出典) 一般社団法人日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」

(2) 医療の効率的な提供の推進

①医薬品の適正使用（重複投薬の是正）

複数の医療機関から同一成分の薬剤を投与された患者数

R30 2018	R元 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023
23,642人	23,154人	15,870人	16,882人	19,537人	23,144人

(出典) 厚生労働省「医療適正化に関するデータセット」

65歳以上で11剤以上を投与されている患者数

R30 2018	R元 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023
56,019人	55,371人	51,210人	51,568人	52,098人	52,720人

(出典) 厚生労働省「医療適正化に関するデータセット」

④地域医療構想に基づく病院の機能分化（在宅医療等の推進）

退院支援担当者を配置している医療機関数

H26 2014	H29 2017	R2 2020	R5 2023
95施設	99施設	110施設	113施設

(出典) 「医療施設状況調査（岡山県調べ）」

第四 医療費推計と実績の比較・分析

一 第3期岡山県医療費適正化計画における医療費推計と実績の数値について

表4 医療費推計と実績の差異

(億円)

	①推計値 (適正化前)	②推計値 (適正化後)	③実績値	④推計値と実績値の差 (③-②)
平成30年度	7,245	7,151	7,008	△143
令和元年度	7,425	7,328	7,178	△150
令和2年度	7,610	7,510	6,948	△562
令和3年度	7,787	7,685	7,175	△510
令和4年度	7,969	7,864	7,412	△452
令和5年度	8,155	8,047	7,579	△468